

- BARCELONA Gran Via venue, Spain)
3. Harada Y, Oga T, Kadotani H, Takegami M, Takahashi K, Sumi K, Nakamura T, Ashida Y, Minami I, Horita S, Oka Y, Wakamura T, Fukuhara S, Mishima M, Chin K. Analysis of the relationships between sleep-disordered breathing, hypertension sleepiness and sleep duration in middle-aged urban male workers in Japan. ATS International Conference. (2010,5.17, New Orleans, Louisiana, USA)
  4. Chin K, Chihara Y, Oga T, Tsuboi T, Handa T, Yamamoto K, Mishima M, Uemoto S. Noninvasive ventilation failure predicts in-hospital mortality following living-donor liver transplantation. European Respiratory Society Annual Congress. (2010,9.19, FIRA BARCELONA Gran Via venue, Spain)
  5. 谷澤公伸、陳和夫、星野勇馬、小賀徹 間欠的低酸素とSAS. 第50回日本呼吸器学会学術講演会 シンポジウム12 全身性疾患としての睡眠時無呼吸症候群 2010年4月25日 京都国際会館 京都市
  6. 陳和夫 呼吸不全におけるNPPV管理 第50回日本呼吸器学会学術講演会 教育講演15 2010年4月25日 京都国際会館 京都市
  7. 陳和夫 睡眠呼吸障害の頻度、病態生理および合併症 第55回日本透析医学会学術集会・総会 よくわかる透析科学2透析患者の見過ごされやすい合併症1. 2010年6月18日 神戸ポートピアホテル 神戸市
  8. 陳和夫 睡眠呼吸障害と循環器疾患及びその関連病態 日本睡眠学会第35回定期学術集会ランチオンセミナー5 2010年7月1日 名古屋国際会議場 名古屋市
  9. 陳和夫 睡眠呼吸障害 第20回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会、教育講演12. 2010年10月2日長崎ブリックホール 長崎市
  10. 植松昭仁, 赤星俊樹, 赤柴恒人。メタボリックシンドロームと睡眠時無呼吸症候群 (シンポジウム:全身性疾患としての睡眠時無呼吸症候群)。日呼吸会誌 48(S): 27, 2010
  11. 岡本直樹, 清藤晃司, 赤星俊樹, 服部知洋, 植松昭仁, 永岡賢一, 伊藝孔明, 松本健, 吉澤孝之, 高橋典明, 赤柴恒人, 橋本修。指摘量を考慮した安定期 COPD の短時間作用型  $\beta 2$  刺激薬 (SABA) assist use の検討。日呼吸会誌 48(S): 395, 2010
  12. 平沼久人, 服部知洋, 関山忠孝, 山口賢二, 伊藤玲子, 清藤晃司, 松本健, 赤星俊樹, 赤柴恒人, 橋本修。慢性咳嗽で受診し咳喘息と診断されその後肺炎として加療された気管支結核の 1 症

- 例。日呼吸会誌 48(S): 234, 2010
13. 永岡賢一, 赤星俊樹, 植松昭仁, 清藤晃司, 川原誠司, 岡本直樹, 伊藝公明, 神津悠, 服部知洋, 辻野一郎, 吉澤孝之, 橋本修, 赤柴恒人。閉塞型睡眠時無呼吸症候群(OSAS)における代謝機能異常と体脂肪分布の検討。日呼吸会誌 48(S): 126, 2010
  14. 須金紀雄, 馬場雅行, 山本直敬, 中嶋美緒, 宮本忠昭, 今井礼子, 鎌田正, 溝江純悦, 辻井博彦, 高橋典明, 赤柴恒人, 橋本修。高齢者肺癌に対する治療戦略 高齢者I期非小細胞肺癌に対する炭素イオン線治療の効果。肺癌 49(5): 580, 2010
  15. 山口賢二, 服部知洋, 伊藤玲子, 平沼久人, 関山忠孝, 松本健, 橋本奈緒美, 植松昭仁, 清藤晃司, 赤星俊樹, 馬島徹, 赤柴恒人, 橋本修。気管支喘息とアディポサイトカインの関連について。アレルギー 59(3-4): 390, 2010
  16. 赤星俊樹, 植松昭仁, 川原誠司, 桂一仁, 蜂須賀久喜, 内山真, 赤柴恒人, 橋本修。糖代謝異常はOSASの治療でどのように改善しうるか? (シンポジウム:SASと糖尿病)。日本睡眠学会誌 S: 34, 2010
  17. 矢橋真奈美, 川原誠司, 石川典恵, 長田佳子, 芝宮ゆり, 古川沙央里, 清水健一郎, 野尻さと子, 植松昭仁, 赤星俊樹, 赤柴恒人。ポストポリオ症候群に合併した閉塞型睡眠時無呼吸症候群に nCPAP 治療が有効であった1例。日本睡眠学会誌 S: 207, 2010
  18. 清藤晃司, 永岡賢一, 赤星俊樹, 岡本直樹, 植松昭仁, 服部知洋, 松本健, 吉澤孝之, 赤柴恒人, 橋本修。ハイ・チェッカーによる FEV1.0 および FEV1.0/FEV6.0 の有用性についての検討。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 20(S): 231, 2010
  19. 植松昭仁, 吉澤孝之, 石黒俊彦, 吉澤明孝, 赤星俊樹, 権寧博, 赤柴恒人, 橋本修。閉塞性睡眠時無呼吸症候群と喫煙 - 特に高血圧との関連について。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 20(S): 302, 2010
  20. 橋田洋史, 石黒俊彦, 吉澤孝之, 吉澤明孝, 鈴木雅明, 古川恭司, 権寧博, 赤柴恒人, 波多江奈緒美。n-CPAP 療法における「Easy Life」マスクの有用性について。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 20(S): 303, 2010
  21. 大城祐介, 吉澤孝之, 岩城基, 久野絵里, 佐々木正美, 平井菜穂子, 吉澤明孝, 赤柴恒人, 橋本修。バッテリー内蔵小型ベンチレーターtrilogy100 の有用性。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 20(S): 205, 2010
  22. 大城祐介, 岩城基, 吉澤孝之, 古市祥子, 吉澤明孝, 宮本園江, 榊原美沙, 成田理恵, 赤柴恒人, 橋本修。NPPV 導入が困難な慢性 2 型呼吸不全に対する Average Volume Assured Pressure Support の有用性。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 20(S): 202, 2010
  23. 赤柴恒人。睡眠時無呼吸症候群の病態

- と治療 (ランチョンセミナー)。日本公衆衛生学会誌
24. 藤田之彦, 橋本修, 住友直方, 堀越昶, 赤柴恒人, 竹内仁, 戸田宗宏。日本大学医学部と芸術学部演劇学科との学部間協力による模擬患者(SP)養成の試み。医学教育 41(S): 99, 2010
  25. 柳原万里子, 下山久美子, 中村有希, 高橋理, 鈴木浩明, 島野仁, 佐藤誠。他疾患における睡眠呼吸障害 (SDB) スクリーニング検査から確定診断・治療開始までの問題点。日本睡眠学会第35回定期学術集会。2010・7 名古屋。
  26. 相原治幸, 北村英之, 佐藤耐喜, 佐藤鮎美笠木聡, 成井浩二, 佐藤誠。当院における循環器疾患患者での睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査の有用性についての検討。日本睡眠学会第35回定期学術集会。2010・7 名古屋。
  27. 中村有希, 前島良枝, 下山久美子, 高橋理, 柳原万里子, 佐藤誠。筑波大学生の睡眠習慣と食生活に関する研究。日本睡眠学会第35回定期学術集会。2010・7 名古屋。
  28. 佐藤誠。教育講演: 肥満と睡眠障害。第30回日本肥満学会。2010・10 前橋。
  29. 佐藤誠。シンポジウム1: 睡眠時無呼吸症候群と口腔外科: 睡眠時無呼吸症候群における医科と歯科の連携。第55回日本口腔外科学会総会・学術大会。2010・10 千葉。
  30. 浅岡章一, 阿部高志, 福田一彦, 井上雄一 : エラーモニタリング機能に与える覚醒時間延長の影響—行動指標およびP3との脆弱性の比較— 第28回日本生理心理学会大会, 茨城 2010.05.15
  31. 高江洲義和, 井上雄一, 駒田陽子, 飯森眞喜雄 : パニック障害と閉塞性睡眠時無呼吸症候群合併例における鼻腔持続陽圧呼吸療法のパニック症状に対する効果 第106回日本精神神経学会学術総会, 広島 2010.05.20
  32. 井上雄一, 駒田陽子 : 睡眠関連食行動障害の臨床的意義と対応 第106回日本精神神経学会学術総会, 広島 2010.05.20
  33. 井上雄一 : 睡眠薬の開発と臨床試験のあり方について現状の臨床試験の問題点と改善策 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
  34. 井上雄一 : レム睡眠行動障害と周期性四肢運動 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
  35. 井上雄一 : レストレスレッグス症候群の病態と治療—ドパミン仮説を中心に— 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
  36. 小池茂文, 田中春仁, 山本勝徳, 井上雄一, 河合 真 : 日本人透析患者のRLSにおけるドーパミンアゴニストの薬物血中動態 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
  37. 岡島 義, 林田健一, 中村真樹, 渡邊芽里, 碓氷 章, 渋井佳代, 井上雄二 : 慢性不眠症患者に対する薬物療法と認知行動療法の効果—改善者と非改善者の特徴比較— 日本睡眠学会

- 第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
38. 浅岡章一，阿部高志，福田一彦，井上雄一：眠気による認知的パフォーマンスの減衰—エラ—モニターングに着目して— 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
39. 阿部高志，浅岡章一，駒田陽子，野々村智英，松橋亜矢，笹井妙子，碓氷 章，植野彰規，井上雄一：行動的覚醒維持検査中の無反応に伴う眼球指標の特徴 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
40. 弓野 大，山城義広，小林美奈，井上雄一：睡眠呼吸障害と心血管系疾患を検討する他施設前向き研究：デザイン、目的、方法 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
41. 臼井靖博，高田佳史，浅沼亮子，庄司香津子，小寺香澄，猿原大和，加藤浩太，橋村雄城，浅野毅弘，椎名一紀，井上雄一，山科 章：重症閉塞性睡眠時無呼吸における混合性無呼吸イベントは左室拡張能障害に関与する 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
42. 對木 悟，小林美奈，井上雄一：閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者の CPAP 適正圧から口腔内装置の治療効果を予測できるか 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
43. 小林美奈，難波一義，對木 悟，井上雄一：高齢者閉塞性睡眠時無呼吸症候群の病態と臨床的特徴に関する検討 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
44. 駒田陽子，岡島 義，野村哲志，井上雄一：慢性不眠が QOL に及ぼす影響 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
45. 鍵村達夫，野村哲志，楠見公義，中島健二，井上雄一：閉鎖コホートによる 2 年間の RLS 症状の自然経過調査 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
46. 作田慶輔，駒田陽子，岡島 義，中村真樹，井上雄一：周期性四肢運動障害における眠気規定因子及び周期性四肢運動指数の妥当性の検討 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
47. 中村真樹，作田慶輔，林田健一，井上雄一：特発性過眠症における大脳微細構造異常所見 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
48. 伊東若子，若井正一，杉浦建生，前田哲也，服部優子，安部俊一郎，高野大樹，近藤英明，井上雄一，神林 崇，清水徹男：パーキンソン病と進行性核上麻痺において過眠症状へのオレキシン神経系の関与 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
49. 植木洋一郎，林田健一，中村真樹，渡邊芽里，小林美奈，井上雄一：ナルコレプシー患者の受診行動に関する実態調査 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会，名古屋 2010.07.01
50. 肥田昌子，渡邊真紀子，加藤美穂，北

- 村真吾, 榎本みのり, 有竹清夏, 守口善也, 亀井雄一, 角谷 寛, 内山 真, 井上雄一, 海老澤 尚, 高橋清久, 三島和夫 : ナルコレプシー患者の受診行動に関する実態調査 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
51. 野村哲志, 井上雄一, 植村佑介, 和田健二, 中島健二 : レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症のレム睡眠行動障害と睡眠ポリグラフの比較 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
52. 笹井妙子, 井上雄一 : レム睡眠行動障害に合併する周期性四肢運動障害の臨床的意義 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
53. 前田恵子, 對木 悟, 井上雄一 : 小下顎と歯列弓狭窄を伴う小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群の一例 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 名古屋 2010.07.01
54. Inoue Y, Namba K : Changes in cerebral haemoglobin indices in obstructive sleep apnoea syndrome with nasal continuous positive airway pressure treatment. 20th of Congress of the European Sleep Research Society, Lisbon 2010.09.16
55. Inoue Y, Uchiyama N, Kuroda K, Hirata K, Hattori N : Open-label study of the long-term efficacy and safety of ASP8825 in patients with primary restless legs syndrome. 20th of Congress of the European Sleep Research Society, Lisbon 2010.09.16
56. Sasai T, Inoue Y : The clinical significance of periodic leg movements in REM sleep behavior disorder. 20th of Congress of the European Sleep Research Society, Lisbon 2010.09.16
57. Sakuta K, Komada Y, Okajima I, Nakamura M, Inoue Y : Associated factors for the occurrence of excessive daytime sleepiness in patients with periodic limb movements during sleep. 20th of Congress of the European Sleep Research Society, Lisbon 2010.09.16.
58. Yamamoto Y, Yoshikawa M, Tomoda K, Yamauchi M, Fukuoka A, Tamaki S, Koyama N, Kimura H. Circulating ghrelin and adipocytokine levels in patients with chronic obstructive pulmonary disease. American Thoracic Society International Conference, 2010.
59. Yamauchi M, Tamaki S, Yoshikawa M, Ohnishi Y, Nakano H, Kimura H. CPAP acceptance and resting awake breathing irregularity in obstructive sleep apnea. American Thoracic Society International Conference 2010.
60. Tomoda K, Yoshikawa M, Kubo K, Yamamoto Y, Nakamura A, Yamauchi M, Hamada K, Kimura H. Discontinuous feeding with fiber-free diet accelerates elastase-induced emphysema in rats. American Thoracic Society International Conference,

- 2010.
61. Nakamura A, Hamada K, Sakai Y, Matsumoto K, Kimura H. Oral administration of a new prostacyclin agonist with a thromboxane synthase inhibitory activity improves bleomycin-induced lung fibrosis. European Respiratory Society Annual Congress, 2010.
  62. Ota H, Tamaki S, Itaya-Hironaka A, Sakuramoto-Tsuchida S, Yamauchi A, Morioka T, Takasawa S, Kimura H: Direct effects of intermittent hypoxia on pancreatic beta cell function and proliferation. European Respiratory Society Annual Congress, 2010.
  63. 木村 弘, 山谷睦雄. 呼吸器科勤務医/専門医の現状－呼吸器診療医師の増加策をめざした取り組み. 日本呼吸器学会将来計画委員会特別報告, 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  64. 太田浩世, 木村 弘.  $\beta$  細胞機能と SAS. (シンポジウム: 全身性疾患としての睡眠時無呼吸症候群), 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  65. 中村篤宏, 桜井正樹, 真貝隆之, 三浦幸子, 高濱潤子, 今井照彦, 吉川雅則, 濱田 薫, 木村 弘. MDCT (multidetected-row CT) による肺高血圧症例の検討. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  66. 須崎康恵, 濱田 薫, 友田恒一, 吉川雅則, 木村 弘. 肺気腫形成に抑制的な機能を有する T 細胞についての検討. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  67. 友田恒一, 吉川雅則, 久保 薫, 山本佳史, 中村篤宏, 濱田 薫, 木村 弘. エラスターゼ誘導肺気腫は繊維除去食および欠食で促進する. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  68. 山本佳史, 吉川雅則, 山内基雄, 友田恒一, 福岡篤彦, 玉置伸二, 児山紀子, 三嶋理晃, 木村 弘. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の栄養状態および併存症の実態調査. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  69. 吉川雅則, 友田恒一, 山本佳史, 山内基雄, 児山紀子, 玉置伸二, 福岡篤彦, 木村 弘. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者における血中グレリンとアディポサイトカインの検討. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  70. 山内基雄, 玉置伸二, 友田恒一, 吉川雅則, 大西徳信, 中野 博, 木村 弘. 混合型睡眠時無呼吸は閉塞型睡眠時無呼吸として扱ってよいか? 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  71. 玉置伸二, 友田恒一, 山本佳史, 児山紀子, 山内基雄, 吉川雅則, 濱田 薫, 木村 弘. 当院における肺非結核性抗酸菌症の検討. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  72. 田村猛夏, 田村 緑, 久下 隆, 岡村英生, 塚口勝彦, 畠山雅行, 徳山 猛, 成田亘啓, 木村 弘. アスベスト検診で発見された肺がん症例の検討. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 2010.
  73. 太田浩世, 木村 弘. 低酸素における脾臓  $\beta$  細胞障害. (シンポジウム: SAS と糖尿病). 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 2010.
  74. 大西徳信, 上森栄和, 中井正之, 千崎香, 伊藤典子, 中野 博, 木村 弘. 睡眠時無呼吸症候群診断後の末端肥大症の合併発見例について. 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 2010.
  75. 山内基雄, 玉置伸二, 吉川雅則, 大西徳信, 中野 博, 木村 弘. CPAP acceptance 予測因子としての覚醒時呼吸不規則性の可能性. 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 2010.
  76. 藤田幸男, 吉川雅則, 山本佳史, 友田

- 恒一, 福岡篤彦, 山内基雄, 児山紀子, 玉置伸二, 木村 弘, 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の骨塩量と QOL および運動能との関連. 第 20 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2010.
77. 福岡篤彦, 鴨川浩二, 西林季美, 中森和里, 岩井一哲, 山本夏子, 甲斐吉郎, 国松幹和, 吉川雅則, 木村 弘. 「笑いヨガ」の呼吸リハビリテーションへの応用のための基礎検討. 第 20 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2010.
78. 鴨川浩二, 福岡篤彦, 中森和里, 西林季美, 岩井一哲, 山本夏子, 甲斐吉郎, 国松幹和, 吉川雅則, 木村 弘. 「笑いヨガ」の COPD 患者の QOL、うつおよび不安状態に及ぼす影響の臨床的検討. 第 20 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2010.
79. 健康と睡眠について考える市民公開講座 (2010. 2. 13. 津田沼) 巽浩一郎. 睡眠時無呼吸症候群. 「いびき」からだの「赤信号」.
80. 第 35 回日本睡眠学会定期学術集会シンポジウム (2010. 7. 1. 名古屋) 巽浩一郎. OSAS は進行、悪化してゆく病気か? OSAS によるインスリン抵抗性は OSAS を増悪する.
81. 第 35 回日本睡眠学会定期学術集会シンポジウム (2010. 7. 2. 名古屋) 巽浩一郎. 高齢者の睡眠呼吸障害: 病態と治療・管理基準. 加齢と呼吸: 呼吸調節.
82. 第 45 回睡眠呼吸障害研究会シンポジウム (2010. 7. 3. 名古屋) 巽浩一郎. 肥満と閉塞型睡眠時無呼吸症候群: 現状把握と将来展望
83. 漢方医学フォーラム (2010. 10. 28. 日比谷) 巽浩一郎. インフルエンザに対する漢方薬の有用性 一賢者は歴史に学び、患者は経験に学ぶ.
84. 榊原 博樹: 睡眠時無呼吸症候群を中心とした賢い医療連携. 日本呼吸器学会誌48(増): 37, 2010. (第50回日本呼吸器学会学術講演会総会, 京都, 2010)
85. Miyazaki S: Pitfall of OSA. 2010 Beijing International Sleep Medicine Forum, 2010. 4. 17-21 Beijing, China.
86. T. Akamizu: 「Clinical applications of ghrelin. 14<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology」, 2010. 3. 26-30, Kyoto
87. 岩倉浩, 有安宏之, 坂東美佳, 細田公則, 中尾一和, 寒川賢治, 赤水尚史: グレリノーマモデルマウスの作製と解析. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会. ホテルグランピア岡山ほか (岡山市). H22 年 5 月 27 日~29 日.
88. G. Yamada, H. Ariyasu, H. Iwakura, H. Arai, H. Hosoda, K. Kangawa. T. Akamizu, K. Nakao: 「Development and analysis of ghrelin derivatives overexpressing transgenic mice」, 2010. 3. 26-30, Kyoto
89. H. Iwakura, H. Ariyasu, Y. Li, N. Kanamoto, M. Bando, G. Yamada, H. Hosoda, K. Hosoda, A. Shimatsu, K. Nakao, K. Kangawa, T. Akamizu:

- 「Establishment of a transgenic mouse model of ghrelinoma」, 4<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology, 2010.3.26-30, Kyoto
90. H. Ariyasu, H. Iwakura, G. Yamada, N. Kanamoto, K. Kohno, T. Sato, M. Kojima, K. Nakao, K. Kangawa, T. Akamizu: 「Roles of ghrelin in the control of growth hormone secretion」, 4<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology, 2010.3.26-30, Kyoto
91. H. Ariyasu, T. Akamizu: 「Generation of transgenic mice-over-expressing ghrelin analog. 14<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology」, Official Satellite Symposium-Obesity and Metabolic Syndrome. 2010. 3.30-31, 2010, Kyoto
92. 有安宏之、岩倉浩、寒川賢治、赤水尚史: 「ヒトの糖代謝に対するグレリン投与の影響」、第83回日本内分泌学会学術集会、2010.3.25-28、京都
93. Yamada G, Ariyasu H, Iwakura H, Hosoda H, Akamizu T, Kangawa K, Nakao K: Generation of Transgenic Mice Over-expressing a Ghrelin Analog. 28<sup>th</sup> JES Summer Seminar on Endocrinology & Metabolism, ハウステンボス・ユトレヒト会議室（長崎県佐世保市），2010年7月8日～10日。
94. 有安宏之、岩倉浩、赤水尚史、山田豪、中尾一和、寒川賢治：後天的グレリン分泌低下マウスにおける成長ホルモン分泌の検討。\_第37回日本神経内分泌学会学術集会。京都大学芝蘭会館。2010年10月22・23日。
95. Akamizu T: Novel diagnostic criteria for thyroid storm. Thyroid Satellite Symposium of ICE 2010, March.25. Shiran Kaikan
96. Hinata T, Watanabe Y, Morita K, Kimura F, Akamizu T: Influence of sera and TSH monoclonal antibodies from patients with Graves' disease/ophthalmopathy on growth and differentiation of 3T3-L1 preadipocytes. 14<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology, Kyoto International Conference Center, Kyoto, March.26-30, 2010. P.465
97. Akamizu T: Ethnic differences in the Genetics of AITD. 14<sup>th</sup> International Thyroid Congress, Palais Des Congres (Paris). Sept.11-16, 2010. P.66
98. Akamizu T: Pathophysiology and Pathogenesis of Graves' disease. 14<sup>th</sup> International Thyroid Congress, Palais Des Congres (Paris). Sept.11-16, 2010. P.68
99. T. Akamizu: Diagnosis and epidemiology thyroid crisis. Programme book of 14<sup>th</sup> Asia-Oceania Congress of Endocrinology, p18, 2010.
100. T. Akamizu: Subclinical hyper/hypothyroidism. Journal of Endocrinology and Metabolism Vol 1, suppl No 2, p18, 2010.
101. 吉田和也 閉塞型睡眠時無呼吸症



候群の治療と今後の展望 京都府社会  
保険診療報酬支払基金歯科学術講演会  
2010年2月23日、京都市

102. 吉田和也 睡眠時無呼吸症候群の  
歯科口腔外科的治療と今後の展望 東  
住吉区歯科医師会学術講演会 2010年  
6月19日、大阪市

103. 吉田和也 口腔顎顔面領域の筋緊  
張異常に起因する疾患の診断と治療  
京都矯正歯科研究会特別講演 2010年  
8月1日、京都市

104. 吉田和也 人工気道（気管挿管・  
気管切開）患者の口腔ケア 京都医療  
センター 2010年10月19日、京都市

105. 丸川和也, 上松隆司, 堂東亮輔,  
高橋美穂, 寺本祐二, 丹羽 崇, 高田  
匡基, 吉田 和也, 古澤清文 閉塞性睡  
眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置  
の有用性 第64回日本口腔科学会学術  
集会 2010年6月24日-25日、札幌市

106. Yoshida K, Suzuki K, Shirai Y,  
Ohno J. Brain activity in  
oromandibular dystonia assessed by  
near-infrared spectroscopy. 88<sup>th</sup>  
General Session & Exhibition of the  
International Association for Dental  
Research, Barcelona, 2010, 7, 14-17.

107. 大野 純, 鈴木克彦, 白井陽子,  
吉田和也, 兵 行忠 下顎に発生した  
エナメル上皮線維腫の1例 第55回日  
本口腔外科学会総会・学術大会 2010  
年10月16日-18日、千葉市

108. 吉田和也 顎と口の領域の不随意  
運動 「カラダ元気」FM845 2010年8  
月31日

109. 谷澤公伸, 陳和夫, 星野勇馬, 小  
賀徹 間欠的低酸素とSAS. 第50回日  
本呼吸器学会学術講演会 シンポジウ  
ム12 全身性疾患としての睡眠時無呼  
吸症候群 2010年4月25日 京都国際  
会館 京都市

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

特開2006-204630 閉塞型睡眠時無呼吸症  
候群解消器、現在、審査請求中。(2010. 8. 31:  
拒絶通知に対する意見書提出済み)

### 2. 実用新案登録

特になし。

### 3. その他

特になし。

## (資料1) アンケート用紙

# 健康と暮らしについてのアンケート (漢方)

このアンケートは生活習慣病を少なくするための生活習慣の変化が、健康状態の変化などと、どのような関連があるのかを調べることを目的としています。お答えいただいたアンケートの内容は、すべて統計的に処理され、病気の予防や治療の効果などの研究などに役立てられます。いただいた情報についてプライバシーは厳しく守られます。アンケートにお答えいただかなくても、あなた様の不利益になることは一切ございません。このアンケートにお答えいただくことによって、この調査に参加していただいたことと考えさせていただきます。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、この研究の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記入日 平成 年 月 日

ふりがな  
お名前

お年 歳

身長 cm

体重 kg

病院用整理欄

確認済み

○治療前・未治療

○治療後 年 か月 (CPAP、マウスピース、その他)

ID 番号 \_\_\_\_\_

あなたの健康状態についておうかがいします。

問1 あなたの健康状態は？（一番よくあてはまる番号に○印をつけてください。）

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 最高に良い | 4 あまり良くない |
| 2 とても良い | 5 良くない    |
| 3 良い    |           |

問2 1年前と比べて、現在の健康状態はいかがですか。（一番よくあてはまる番号に○印をつけてください。）

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1 1年前より、はるかに良い | 4 1年前ほど、良くない   |
| 2 1年前よりは、やや良い  | 5 1年前より、はるかに悪い |
| 3 1年前と、ほぼ同じ    |                |

問3 以下の質問は、日常よく行われている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をすることがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。（ア～コまでのそれぞれの質問について、あてはまる番号に○をつけてください）

	とても むずかしい	すこし むずかしい	ぜんぜん むずかしくない
ア) <u>激しい活動</u> 、例えば、一生けんめい走る、重い物を持ち上げる、激しいスポーツをするなど	→ 1	..... 2	..... 3
イ) <u>適度の活動</u> 、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど	→ 1	..... 2	..... 3
ウ) 少し重い物を持ち上げたり、運んだりする（例えば買い物袋など）	→ 1	..... 2	..... 3
エ) 階段を <u>数階上</u> までのぼる	→ 1	..... 2	..... 3
オ) 階段を <u>1階上</u> までのぼる	→ 1	..... 2	..... 3
カ) 体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ	→ 1	..... 2	..... 3
キ) <u>1キロメートル以上</u> 歩く	→ 1	..... 2	..... 3
ク) <u>数百メートルくらい</u> 歩く	→ 1	..... 2	..... 3
ケ) <u>百メートルくらい</u> 歩く	→ 1	..... 2	..... 3
コ) 自分でお風呂に入ったり、着がえたりする	→ 1	..... 2	..... 3

問4 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。（ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけて下さい）

過去1カ月間のうち	いつも	ほとんど	ときどき	まれに	ぜんぜん	ない
ア) 仕事やふだんの活動をする <u>時間</u> をへらした	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5	
イ) 仕事やふだんの活動が思ったほど、 <u>できなかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5	
ウ) 仕事やふだんの活動の <u>内容</u> によって、できないものがあった	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5	
エ) 仕事やふだんの活動をすることが <u>むずかしかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5	
(例えばいつもより努力を必要としたなど)						

問5 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために）、次のような問題がありましたか。（ア～ウまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけて下さい）

過去1カ月間のうち	いつも	ほとんど	ときどき	まれに	ぜんぜん	ない
ア) 仕事やふだんの活動をする <u>時間</u> をへらした	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5	
イ) 仕事やふだんの活動が思ったほど、 <u>できなかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5	
ウ) 仕事やふだんの活動がいつもほど、 <u>集中してできなかった</u>	→ 1	→ 2	→ 3	→ 4	→ 5	

問6 過去1カ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんにつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらいさまたげられましたか。（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

1 ぜんぜん、さまたげられなかった	4 かなり、さまたげられた
2 わずかに、さまたげられた	5 非常に、さまたげられた
3 すこし、さまたげられた	

問7 過去1カ月間に、体の痛みをどのくらい感じましたか。（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

1 ぜんぜんなかった	4 中くらいの痛み
2 かすかな痛み	5 強い痛み
3 軽い痛み	6 非常に激しい痛み

問8 過去1カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらいさまたげられましたか。（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1 ぜんぜん、さまたげられなかった | 4 かなり、さまたげられた |
| 2 わずかに、さまたげられた    | 5 非常に、さまたげられた |
| 3 すこし、さまたげられた     |               |

問9 次にあげるのは、過去1カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。（ア～ケまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

過去1カ月間のうち	いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜん
ア) 元気いっぱいでしたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
イ) かなり神経質でしたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
ウ) どうにもならないくらい、 気分がおちこんでいましたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
エ) おちついていて、 おだやかな気分でしたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
オ) 活力（エネルギー）にあふれていましたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
カ) おちこんで、ゆううつな気分でしたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
キ) 疲れはてていましたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
ク) 楽しい気分でしたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
ケ) 疲れを感じましたか	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5

問10 過去1カ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でどのくらいさまたげられましたか。

（一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1 いつも     | 4 まれに    |
| 2 ほとんどいつも | 5 ぜんぜんない |
| 3 ときどき    |          |

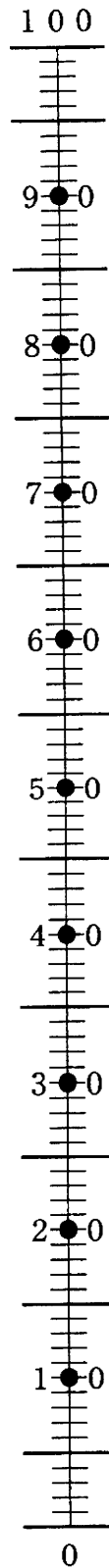
問11 次にあげた各項目は、どのくらいあなたにあてはまりますか。（ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまる番号に○をつけてください）

	まったく	そのとおり	ほぼあてはまる	何とも 言えない	ほとんどあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
ア) 私は他の人に比べて病気になりやすいと思う	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	
イ) 私は、人並みに健康である	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	
ウ) 私の健康は、悪くなるような気がする	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	
エ) 私の健康状態は非常に良い	→ 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	

問12 健康状態がどれくらい良いか悪いかを人々が述べるのを手助けするために、(温度計にいくぶん似た)目盛を描きました。あなたが想像できる最も良い状態に100、また、あなたが想像できる最も悪い状態には0が付けられています。

あなた自身の今日の健康状態がどれくらい良いか悪いか、あなたの考えでこの目盛に示して下さい。このことは、あなたの現在の健康状態がその程度良いか悪いかを示す目盛の点まで、一本の線を引くことで行って下さい。

想像できる  
最も良い  
健康状態



想像できる  
最も悪い  
健康状態

**運動についておうかがいします。**

問13 あなたは、次のような運動を、どのくらいの頻度で行いますか。

(1)~(3)のそれぞれの運動のタイプ別にお答え下さい。

また、行うものについては、1回あたりの時間もお知らせください。

(1) 軽い運動 (例：散歩・木工・草取り・一般的な家事・自転車の修理) (○は1つだけ)

1	1週間に3回以上	→	1回あたり およそ		時間		分
2	1週間に1~2回						
3	1カ月に1~3回						
4	しない・ほとんどしない						

(2) 中程度の運動 (例：床磨き・車磨き・ダンス・ゴルフ・サイクリング・飾り付け・芝生刈り・ゆっくり泳ぐ・ウォーキング) (○は1つだけ)

1	1週間に3回以上	→	1回あたり およそ		時間		分
2	1週間に1~2回						
3	1カ月に1~3回						
4	しない・ほとんどしない						

(3) 激しい運動 (例：ジョギング・速いペースで泳ぐ・テニス・穴掘り・自転車競走) (○は1つだけ)

1	1週間に3回以上	→	1回あたり およそ		時間		分
2	1週間に1~2回						
3	1カ月に1~3回						
4	しない・ほとんどしない						

問14 あなたの運動量は十分と感じていますか。次の中からあなたのお感じに最も近いものを1つ選んで下さい。(○は1つだけ)

1	十分に運動をしている						
2	運動をしているが、十分ではない						
3	運動をしたいが、していない						
4	運動は必要ない						



眠気についておうかがいします

問15 もし、以下の状況になったとしたら、どのくらいうとうとする（数秒～数分眠ってしまう）と思いますか。最近の日常生活を思い浮かべてお答えください。

以下の状況になったことが実際になくても、その状況になればどうなるかを想像してお答え下さい。(1～8の各項目で、○は1つだけ)  
すべての項目にお答えしていただくことが大切です。  
できる限りすべての項目にお答えください。

うとうと する可能 性はほと んどない	うとうと する可能 性は少し ある	うとうと する可能 性は半々 くらい	うとうと する可能 性が高い
------------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------

- |                                 |     |         |         |         |
|---------------------------------|-----|---------|---------|---------|
| 1) すわって何かを読んでいるとき（新聞、雑誌、本、書類など） | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |
| 2) すわってテレビを見ているとき               | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |
| 3) 会議、映画館、劇場などで静かにすわっているとき      | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |
| 4) 乗客として1時間続けて自動車に乗っているとき       | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |
| 5) 午後に横になって、休息をとっているとき          | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |
| 6) すわって人と話をしているとき               | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |
| 7) 昼食をとった後（飲酒なし）、静かにすわっているとき    | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |
| 8) すわって手紙や書類などを書いているとき          | → 0 | ..... 1 | ..... 2 | ..... 3 |

過去1ヵ月間におけるあなたの通常の睡眠の習慣についておたずねします。  
過去1ヵ月間について大部分の日の昼と夜とを考えて、以下のすべての質問項目にできる限り正確にお答えください。

問16 過去1ヵ月間において、通常何時ごろ寢床につきましたか。

就寝時刻 (1 午前 2 午後) 時 分ころ

問17 過去1ヵ月間において、寢床についてから眠るまでどれくらい時間を要しましたか。

約 分

問18 過去1ヶ月間において、通常何時ごろ起床しましたか。

起床時刻 (1 午前 2 午後) 時 分ころ

問19 過去1ヵ月間において、実際の睡眠時間は何時間ぐらいでしたか。  
これは、あなたが寢床の中にいた時間とは異なる場合があるかもしれません。

睡眠時間 1日平均 約  時間  分

問20 過去1ヵ月間において、どれくらいの頻度で、以下の理由のために睡眠が困難でしたか。最もあてはまるものに1つ○印をつけてください。

(a. ~ j. それぞれ○は1つずつ)

なし	1週間に1回未満	1週間に1~2回	1週間に3回以上
----	----------	----------	----------

a. 寢床についてから30分以内に眠ることができなかったから	→ 1	2	3	4
b. 夜間または早朝に目がさめたから	→ 1	2	3	4
c. トイレに起きたから	→ 1	2	3	4
d. 息苦しかったから	→ 1	2	3	4
e. 咳が出たり、大きないびきをかいたから	→ 1	2	3	4
f. ひどく寒く感じたから	→ 1	2	3	4
g. ひどく暑く感じたから	→ 1	2	3	4
h. 悪い夢をみたから	→ 1	2	3	4
i. 痛みがあったから	→ 1	2	3	4
j. 上記以外の理由があれば、次の空欄にご記入の上、その頻度もお知らせください。	→ 1	2	3	4
( )				

問21 過去1ヵ月間において、ご自分の睡眠の質を全体として、どのように評価しますか。  
 (○は1つだけ)

1 非常によい	3 かなりわるい
2 かなりよい	4 非常にわるい

問22 過去1ヵ月間において、どのくらいの頻度で、眠るためにくすりを服用しましたか。  
 (医師から処方された薬あるいは薬局で買った薬)。(○は1つだけ)

1 なし	3 1週間に1~2回
2 1週間に1回未満	4 1週間に3回以上

問23 過去1ヵ月間において、どのくらいの頻度で、車の運転や食事中や社会活動中などに眠ってはいけないうちに、おきていられなくなり困ったことがありましたか。  
 (○は1つだけ)

1 なし	3 1週間に1~2回
2 1週間に1回未満	4 1週間に3回以上

問24 過去1ヵ月間において、物事をやり遂げるのに必要な意欲を持続するうえで、どのくらい問題がありましたか。(○は1つだけ)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 全く問題なし         | 3 いくらか問題があった   |
| 2 ほんのわずかだけ問題があった | 4 非常に大きな問題があった |

---

精神状態についておうかがいします

---

この質問紙はあなたが最近どのように感じているかお尋ねするよう編集されています。次に挙げてある14の設問を読み、それぞれについて4つの答えのうち、あなたのこの1週間の御様子に最も近いものに○をつけて下さい。それぞれの設問に長く時間をかけて考える必要はありません。パッとまず頭に浮かんだ答えの方が正しいことが多いからです。

問25 気分が安まらない(緊張する)感じがありますか?

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 ほとんどいつもそう感じる | 3 時々そう感じる  |
| 2 たいていそう感じる    | 4 全くそう感じない |

問26 以前楽しんでいたことを今でも楽しめますか?

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1 以前と全く同じくらい楽しめる | 3 少ししか楽しめない |
| 2 以前より楽しめない      | 4 全く楽しめない   |

問27 まるで何かひどいことが今にも起こりそうな恐ろしい感じがしますか?

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 はっきりあって、程度もひどい | 3 わずかにあるが、気にならない |
| 2 あるが程度はひどくない    | 4 全くない           |

問28 笑えますか? いろいろなことのおかしい面が理解できますか?

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 以前と同じように笑える     | 3 明らかに以前ほどには笑えない |
| 2 以前と全く同じようには笑えない | 4 全く笑えない         |

問29 くよくよした考えが心に浮かびますか?

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 ほとんどいつもある | 3 時にあるが、しばしばではない |
| 2 たいていある    | 4 ほんの時々ある        |

問30 “きげん”が良いですか?

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 全くそうでない    | 3 時々そうだ      |
| 2 しばしばそうではない | 4 ほとんどいつもそうだ |

問31 のんびり腰かけて、くつろぐことができますか？

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 できる      | 3 あまりできない |
| 2 たいてい、できる | 4 全くできない  |

問32 まるで頭の回転や反応がおそくなったように感じますか？

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 ほとんどいつもそう感じる | 3 時々そう感じる |
| 2 大変しばしばそう感じる  | 4 全く感じない  |

問33 胃が気持ち悪くなるような一種恐ろしい感じがしますか？

- |         |              |
|---------|--------------|
| 1 全くない  | 3 かなりしばしば感じる |
| 2 時々感じる | 4 大変しばしば感じる  |

問34 自分の身なりに興味を持たなくなりましたか？

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 明らかにそうだ                   |
| 2 自分の身なりに十分な注意を払っていない       |
| 3 自分の身なりに十分な注意を払っていないかもしれない |
| 4 自分の身なりには十分な注意を払っている       |

問35 まるで始終動きまわっていなければならないほど、落ち着きがないですか？

- |          |            |
|----------|------------|
| 1 非常にそうだ | 3 余りそうではない |
| 2 かなりそうだ | 4 全くそうでない  |

問36 これからのことが楽しみにできますか？

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1 以前と同じようにそうだ   | 3 その程度は明らかに以前より劣る |
| 2 その程度は以前よりやや劣る | 4 ほとんど楽しみにできない    |

問37 急に不安に襲われますか？

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1 大変しばしばそうだ  | 3 しばしばでない |
| 2 かなりしばしばそうだ | 4 全くそうでない |

問38 本やラジオ・テレビの番組を楽しめますか？

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 しばしばそうだ | 3 しばしばでない   |
| 2 時々そうだ   | 4 ごくたまにしかない |